

<b>インダノファン・クロメブロップ・ペンシルフロンメチル粒剤 マサカリ L ジャンボ</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日農  <b>原体メーカー：</b> 日農、バイエル、クミカ
<b>成分：</b> インダノファン〔オキシラン系 PRTR・1種〕…2.8% クロメブロップ〔フェノキシ酸系〕……………7.0% ペンシルフロンメチル〔スルホニルウレア系〕……………1.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒，水溶性パック入り，1パック50g <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- 10 a 当り10パック（1パック50g）を投げ込むジャンボ剤であり，除草作業の省力化，軽作業化が図れる。
- ノビエ2葉期までの処理で優れた除草効果を発揮する一発処理剤である。
- 最近，問題化しているアゼナ類，ミズアオイ，ホタルイ等にも有効である。
- 拡散性の優れた粒剤を水溶性フィルムでパックしたジャンボ製剤である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 共通注意事項の5．水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので，必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生始期まで
クログワイ オモダカ	発生始期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

- 小包装（パック）のまま10 a 当り10個の割合で水田に均等に投げ入れる。

- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので，物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用する。
- クログワイ及びオモダカに使用する場合には，有効な他剤との組み合わせで使用する。
- ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5．水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（水稻）への薬害の注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 散布後数日間著しい高温が続く場合，初期生育が抑制されることがあるが，一過性のもので次第に回復し，その後の生育に対する影響は認められていない。
- いぐさ，れんこん，せり，くわいに薬害のおそれがあり，隣接田で使用する場合は十分注意する。

### 【安全対策上の注意】……………

- 藻類に影響を及ぼすので，使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意する。
  - 眼に対して刺激性がある。
  - 皮膚に対して弱い刺激性がある。

# 【適用と使用方法】 .....

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ クログワイ (北陸，九州を除く) オモダカ (九州を除く) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類に よる表層はく離	砂壤土 ～埴土	移植後 5 日～ ノビエ 2.5 葉期 但し，移植後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個 (500 g)	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入 れる。	北陸，関東・東 山・東海，近畿・ 中国・四国の普 通期及び早期栽 培地帯，九州の 普通期栽培地帯	1 回 ※
			移植後 5 日～ ノビエ 2 葉期 但し，移植後 30 日まで			九州の早期栽培 地帯	

※インダノファンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内  
 ※クロメプロップを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内  
 ※ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内